

広報 東京都製紙原料協同組合 263号

発行所
東京都製紙原料協同組合
台東区台東3-16-1
TEL (3831) 7980
発行人 近藤 勝
編集広報委員会



越中で立山 加賀では白山 駿河の富士山 三国一だよ。「越中おはら節」

城南支部 梶野 泰一

〈 主 な 内 容 〉

新年のご挨拶	理事長 近藤 勝	2	〔忘年会開催〕	城南支部長 坂田 智	16~17
	副理事長 清水弘允、松井隆宏	3~5	〃	江墨支部長 松井隆宏	17
	東京返本加工協同組合理事長 工藤裕樹	5~6	〔忘年ゴルフコンペ〕	城北支部長 黒田義孝	17
海外メーカー工場視察 中国(北京・大連)			組合員の広場		
	山手支部 鈴木一徳	6~11	「銀座豆知識」	城南支部 坂田秀一郎	18
合同ゴルフ会開催	広報部長 清水弘允	12~13	支部スケジュール		18~19
清風会忘年会、研修会	事業部長 坂田 智	13~14	お知らせ		
支部便り			「2月会議・催事予定」「古紙価格」「訃報」		19
〔忘年会開催〕	文京支部長 大柴和男	14~15	会議概要〔11月・12月〕		20~25
〃	台東支部長 高山昭二郎	15	編集後記	広報部副部長 脇 克美	25
〃	足立支部長 赤松源裕	15	広 告		26
〃	山手支部 徳永裕司	16			

新年のご挨拶

東京都製紙原料協同組合

理事長 近藤 勝



新年明けまし

ておめでとうござ
います。皆様方
はお健やかに佳
き新春をお迎え
のこ
ととお慶び申し
上げます。又、日頃

より当組合へのご支援ご指導を賜り厚く御礼
申し上げます。昨年は年明け早々、再生紙偽
装問題が大きく取り上げられグリーン購入法
の見直しへと発展、古紙業界も色々と意見を
求められた一年でした。偽装といえば食品偽
装は産地・製造から流通、有名料理店まで次々
と発覚し、又、食の安全面での問題も数多く
報道されました。食品偽装は安くなければ売
れないという日本の消費構造に原因があると
いうのは多くの有識者による見解であります
が、その構造を作ったのは日本人であり、突
きつめてゆけば日本の教育、学校、家庭での

教育にたどり着くこととなります。今回の金
融問題で多くの大学が巨額の損失を計上しま
した。企業買収や株式投資などの金融商品を
学校で教えるなどということには、少なから
ず私以外の方々でも抵抗を感じていたのでは
ないでしょうか。

数年間続いていた世界的資源不足も昨年は
ピークを迎え、投機資金も加わり夏場には原
油、穀物など過去に類を見ない異常な相場を
迎えました。上昇時には買い手は実需より余
分に購入し、下降時には在庫減らしのために
実需以下の買いとなるのは経済の原則であり
ます。正に今、世界的景気後退によって鉄鋼
業界を始めとするあらゆる製造業が減産に入
りその原料が暴落しています。回復がいつに
なるのか在庫調整待ちの状態となっております。
失業者の増加が社会問題化してきました。

そういった状況の中、当組合の最大のイベ
ントであった創立60周年記念事業が多くくの製
紙メーカー、全原連、関係各社のご支援のも
と10月に無事終了致しました。心から厚く御
礼申し上げます。又、翌11月下旬、中国の実
情調査として直納部主催で北京、大連へ研修
に出かけました。古紙ヤードの見学がメイン
で、聞くところによると10月からの大暴落に

謹 賀 新 年

より集荷人の離散が始まったが、11月の中旬以降、漸く動き始めたことでした。価格もピーク時から半値程のところまで取引されておりました。以前、組合研修でアセアン諸国を訪問した時、どこの国も日本の古紙が欲しいが高すぎて買えないというのが当時の印象でした。勿論、景気の悪化はこの国も同じだと思いますが、実態以下に下がる様なことが常態化するようであれば輸出先の流れも変わってくるのではないのでしょうか。まだまだ不況の入り口であり先のことばかりませんが、古紙の暴落を食い止め、勿論行過ぎた価格は是正しなければなりません、適正価格で需給両業界が安定してゆける年になることを期待したいと思います。

アメリカの新たな大統領に就任するバラク・オバマ氏は本年48歳の丑年だそうです。きっと猛牛のごとく力を発揮し、アメリカ経済、世界経済の回復に貢献してくれると思います。我々も我慢の年になりそうですが、今まで築き上げた古紙回収システムの維持、高い品質の維持に努め社会への貢献を続けていきたいと思えます。今年一年、引き続き皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

新年のご挨拶

東京都製紙原料協同組合

副理事長 清水 弘允



明けましてお目出
とうございます。
今年の干支(えと)
は己丑(ツチノト・
ウシ)です。

インターネットの百科事典ウィキペディアで調べてみますと、己の意味は「土の弟」、丑は「ウシ」ですので、なんとなくのんびりとした雰囲気伝わってきます。

しかし現実の世の中はそんな訳には行かず、新しい年は相当厳しい年になると覚悟しなければなりません。

昨年の重大ニュースを見ても、国内、海外ともに相変わらず殺人、偽装、暴動、テロなど陰惨な事件が並んでいます。楽しいニュースと言えば国内では北京五輪で北島が連続2冠、女子ソフトボールの悲願の金メダルくらい、海外では米大統領選でオバマ大統領が誕生した事に期待するくらいでしょうか。

謹 賀 新 年

経済関係では米国発の金融危機が实体经济に波及し世界同時不況に突入してしまいました。連邦準備理事会のグリーンズパン元議長が言ったように「100年に1度の不況」なのかどうかは分かりませんが、世界市場全体が縮小してしまつたので、もとの市場規模に回復するには相当の時間が掛かるでしょう。それまでの期間かなり腰をすえた対応をしなければなりません。ビジネスの世界は完全にグローバルな相互依存関係に入っている中で、特定な国だけが単独で繁栄する事はあり得ません。しかも厳しい競争が存在するので、不況になれば殆どの会社が悪影響を受けますが、好況になったからといって余程の努力、工夫をしなければ、自分の会社に好況のおこぼれが回って来る保証はありません。

しかし後ろ向きに見ているだけでは何も生まれません。古紙業界は打たれ強いというか、陽の当たる時期は過去余りなかった業界です。から、しぶとく生きていきましょう。

冷静に当面の対策について考えて見ますと、1つ目は価格対応があります。売値、特に輸出価格が急落しており、古紙相場はしばらく低迷するでしょうから、発生源の理解を得ながら仕入値を売値とバランスさせなければ

はいけません。12月に理事長名で発行した「緊急報告」のような文書も必要があれば今後も発行します。2つ目は在庫調整です。国内メーカーが大幅な減産を実施していますし中国を中心とした古紙輸出が大幅に減少した為、問屋のヤードには在庫が急増しました。問屋の在庫能力は限られているので、在庫能力を超えた古紙は受け入れたくても出来ません。

現在の日本の古紙市場は構造的に発生が国内消費より400万トン上回っています。需給バランスを取る方法は2つしかありません。輸出によりバランスを取るか昔みたいに古紙のゴミ化によりバランスを取るかしかありません。古紙のゴミ化となれば、せっかく確立した古紙流通ルートが崩壊してしまいます。国内メーカー、ゴミ行政に関する自治体ともに事の重大性を理解して頂きたいと思えます。備蓄ヤードと言うアイデアも出ていると聞いていますが、輸出がもし十分に出来ないとなれば、真剣に考える必要が出てくるでしょう。

何れにしろ、今年も組合として取組む事は沢山あります。組合員の皆さんと一緒に進んで行きたいと思えます。どうぞ宜しくお願ひします。

謹 賀 新 年

新年のご挨拶

東京都製紙原料協同組合

副理事長 松井 隆宏



あけましてお
めでとうござ
います。

2009年の
年頭にあたり
新年のご挨拶を

申しあげます。

昨年を振り返ってみますと時の文字として
発表された「変」そのものであったと思いま
す。物事はなんでも悪いより良い方がいいに
きまっています、けれども全てのものについ
て「変」はつきものだと思います。人生も人
の心も季節も景気も「変」があるからメリハ
リがあり楽しさもあり進歩もあるのではない
でしょうか。

古紙市況も良い時代が永續することを望み
ますが最近の市況の激変は昨年前半には想像
できませんでした。しかしこの様な状況は過
去にも経験がありますが当業界の方々みごと

乗り切つてまいりました。

今後とも「変」の中に利点をみいだし知恵
を出しあいながら頑張りましょう。皆様の健
康と発展を祈念して年頭の挨拶といたしま
す。

新年のご挨拶

東京返本加工協同組合

理事長 工藤 裕樹



平成21年の新春
を迎え、東京都
製紙原料協同組
合並びに東京返
本加工協同組合
の組合員各位に

謹んでお慶びを申し上げます。

年頭の話題にはふさわしくありませんが、
世界同時不況という難局をどうしても振払う
ことが出来ません。

出版業界は媒体の多様化や活字離れにより
11年連続でマイナス成長を続けており、今回
の世界同時不況のあおりも加算され、更なる

謹 賀 新 年

混乱の時代へと進んで行く予感さえありません。

古紙業界は数カ月前まで輸出古紙暴落が目前に迫っているとは誰もが想像しておりませんでした。過去にも古紙余剰、古紙値下がり等幾多の経験はしてきておりますが、今回の輸出価格暴落は、いわゆる「未曾有」ではないでしょうか？

返本業界の過去を振り返りますと、古紙余剰により野積・腐敗等の体験をしており、当時、協同組合東京雑誌リサイクルセンター（MRC）と東京返本加工協同組合（TOM）が両理事長名で文書を配付し、逆有償ではなく加工手数料（処理手数料）として取引先に費用負担をお願いし、現在でもその仕組みの一部が継続されております。今般の危機はその時代以上の危機感を持つて対応せねばとも考えております。

いずれにしろ年初より厳しいことが予測されるのは久々であり、皆様の経験と英知を集め難局を乗り越えて行く所存です、今後とも宜しくお願い致します。

海外メーカー工場視察研修

中国（北京・大連）

山手支部 鈴木 一徳

2008年11月21日（金）～11月24日（月）まで、東京都製紙原料協同組合直納部主催海外メーカー視察研修会に参加しました。

今回の企画は8月には日程と研修先が組まれており、今回も市況高騰の中国を視察するものだと当然考えていたのですが、10月からの突然の市況暴落で、研修会の目的が『落日の中国市況調査』に変わってしまいました。

この時期に行くのはどうかという迷いはありましたが、近藤理事長、赤染直納部長の積極的な【営業活動】により、19名の参加という盛況になりました。

では、業界が注目する？今回の視察報告をいたします。

① 日程

11月21日（金）

成田空港から北京へ

松本光春商店北京通州第2工場視察

謹 賀 新 年

北京市内 資源市場(松本光春商店の仕入先)
訪問

11月22日(土)

河北省保定市にある中芯メーカー訪問

天安門広場見学

11月23日(日)

大連市へ移動

松本光春商店大連ヤード見学

市内視察

11月24日(月)

午前市内視察

大連国際空港から成田空港へ 着後解散

② 視察先

◇松本光春商店通州第2工場

同社は中国国内に開設予定も含めて10ヶ所ヤードがあります。そのうち8ヶ所は北京にあります。今回はこの工場を視察することになりました。



謹 賀 新 年

月間取扱数量は4、500～5、000トン。引き取りはほとんどなく業者持込が多数を占めております。1日当たりの入荷量は150～200トン（段ボールA 30～50トン、段ボールB 30～50トン、新聞50～80トン、その他模造など）
仕入価格は次の通り

段ボールA級（夾雑物の少ないグレードの高い段ボール） 800元/t

段ボールB級（雑紙、ゲボール、新聞などが混ざった低級グレード） 685元/t

新聞 1、100元/t

メーカーへの売値はこの仕入値に100～150元上乘せした価格。

北京オリンピック前の6～7月にかけて仕入高値のピークであったとのこと。

（段ボールA級 1、400～1、450元

段ボールB級 1、300～1、350元

新聞2、350元）

9月末から市況急落。北京市内には古紙ヤードが39ヶ所あるが、そのうちの90%がヤードを休業したとのこと。日本では考えられないが、メーカーが必要な数量を提示し、それに応じて回収業者が回収するため、必要な数量しか回収業者が回収しないとのこと。つまり

余分な回収はしなくなるため、市況が急落してもある程度バランスになっています。では集荷されなくなった古紙はどうなるのか？ごみ化されてしまうとのことでした。

我々が訪れた11月は価格もある程度落ち着きを取り戻したため、多少回収量は増えつつあるようですが、それでも古紙ヤードの70%が休業しているとのことです。（ヤードの回収業者への支払い能力の問題もあるようです）

またこの時期は旧正月を控えて回収されたものを現金化する動きが活発化しているのですが、今年はメーカーが止まり、いつも通り回収しても納入できないので、業者が動いていない、田舎に帰ってしまう者も多いとのこと。

中国のメーカーの状況は、段ボール原紙関係は製品在庫が減らないので一番深刻である。

新聞はあまり景気に左右されず比較的安定している（内需がある）ので、新聞の回復が早いだろうとのことでした。

北京市内にある資源回収業者が集まっている『市場』では、やはりメーカーの購入意欲の減退と比例して、回収量も少なく、在庫も少ないとの説明でした。

しかし、急落局面では回収業者の自殺者が2名あったとの話がありました。

謹 賀 新 年

◇飛よう紙業（FEI YUE ZHI YE）

北京市内からバスで約3時間、河北省保定市にある中堅中芯メーカーを訪問しました。（保定市には約200社の製紙会社があるという）

このメーカーは古紙を最大6,000t/月、現在は3,000t/月使用している中芯メーカーです。設立は1988年で2003年からこの地で操業しています。従業員100人ほどで、中国国内向けの中芯を生産しています。現在日本から古紙（段ボール）は買っていない。以前は購入していたが、日本からの輸入古紙を使用して生産する製品のオーダーがなくなり（いい製品をつくる必要がなくなった）、国内古紙の段ボールB級で十分な製品を作るだけになったとのこと。ここにも景気後退が如実に反映されていることを実感しました。

段ボールB級のプレス品購入単価は7500～8000元/t、製品価格（中芯）は2,3000元/t。生産は24時間体制で行っており、マシン2台は3交代（8時間勤務）リフトマンなどは12時間交代で行っています。社員の平均給与は基本給で1,5000元～2,0000元くらい。将来の見通しについては、「まったく読めない」と笑ってこたえておりました。



謹 賀 新 年

◇松本光春商店大連工場

大連市内には古紙ヤードが4ヶ所あるが(12月初旬に松本光春商店の第2ヤードが開業する)、2004年12月に開業したこの工場を見学しました。

(1日1000トン入荷 月間3,000トンの扱い量)。ここもやはり古紙在庫はあまりなく、北京同様メーカーのオーダーに応じて業者が回収しているので、妙なバランスになっています。つまりメーカーからオーダーがあれば問屋として仕入するが、なければ仕入を止めるということです。

メーカーは8〜10社取引があるが、船で5〜6時間かかる対岸の煙台地区に納入しています。(大連にはメーカーがない)

仕入単価 段ボールA 750元/t

9月初めピークで1,500元/t

段ボールB 730元/t

// 1、400元/t

新聞(含有率95%以上) 1、280元/t

// 2、200元/t

新聞(含有率65%基準) 1、050元/t

// 2、100元/t

今後の見通しについては、このあたりで下げ止まったのではないかと

思いますが、想像がつかないと言っております。



謹 賀 新 年

③ まとめ

今回はある意味、大変タイムリーな視察であり、一瞬ではあっても現実の中国事情を知ることができ、有意義であったと思います。古紙業界の長い歴史のなかで、今回の状況はほとんど初めて体験することであり、みな不安を抱えていると思います。我々は今後とも、この、掴みどころのない国と付き合っていくかなければならず、振り回されることが多いかと思えます。しかし我々はこれを機に日本国内でのリサイクルシステムを維持するためにより強固な基盤を築いていかなければならないと感じました。日本国内の商売と輸出の商売がきちんとリンクすることで、今後の業界の発展があります。そのことを強く感じました。

今回は業界で初めて暴落後の中国を視察することができ、大変いい勉強をさせていただきました。

お世話になった関係者の皆様、お忙しいところありがとうございました。

以上



謹 賀 新 年

合同ゴルフ会を開催

広報部長 清水 弘允

関東商組メンバーとの初めてのゴルフ・コンペが過日、12月7日(日) 太平洋クラブ成田コースで開催されました。

関東商組からは深田理事長以下多数の組合員、当組合からも近藤理事長以下同じく多数の組合員が参加し、両組合から合計11組44名の参加となりました。と言っても両方の組合に重複して加盟している組合員も多く、対抗戦と言うより、和やかな和氣譚々のコンペとなりました。

天気にも恵まれ、雲ひとつない晴天の素晴らしいゴルフ日和の中、熱戦が繰り広げられました。太平洋クラブ成田コースは成田空港近くのコースで、クリークや池が多く配置され、紅葉が真っ盛りでもあり景色を楽しむには最高のコースでした。もともとフェアウエーの何処にボールを落とすかでグリーンへの攻め方が変わる戦略的コースで、景色を楽しむ余裕は皆さん余りなかったのではないのでしょうか。その上、グリーンが早くピンの上

にボールを付けると、すぐにスリーパットしてしまうので気の抜けないコースでした。

成績は以下のとおりです。ダブルパーまで計算のダブルペリア方式です。

- 優勝 (株)藤井 藤井康夫
- 準優勝 (株)山博 山室泰洋
- 3位 皆川商事(株) 皆川 昇
- ベスグロ Gロジテック(株) 清水弘允
- ブービー (株)廣田 廣田圭吾

- ドラコン 菊地武美、廣田圭吾、山口勝弘、平松邦明
- ニアピン 朝倉行彦、上田雄健、工藤房太郎、藤井百合子、新井勝夫、工藤裕樹、栗原正雄、中村典子、
- 大波 宮田博和
- 小波 近藤 勝

毎年開催する事とし開催日を12月第1日曜日と決めました。従って早い話ですが今年は12月6日(日)となります。手帳に予定を入れておいて下さい。

謹 賀 新 年



清風会忘年会は、研修会を兼ねて12月4日に上野東天紅において行なわれました。

清風会忘年会、研修会

事業部長 坂田 智

謹 賀 新 年

今回は忘年会に先立って、関東商組の深田理事長に現在の古紙状況や、これからの見通しについて講演して頂きました。理事長は、あらかじめ準備して頂いた資料を基に、出席者にとっても解りやすく説明を下さり、又これから先、悲観するだけでなく、明るく事も十分考えられると言う事を熱心にお話して頂きました。出席者にも笑みが浮かびました。

さて忘年会ですが、コンパニオン6人も加わり大変盛り上がり、美味しい料理と酒に皆さん時間が過ぎるのも忘れて、楽しんで頂きました。次回清風会コンペは4月9日(木)に若洲ゴルフリンクスで4組予定しております。

支部便り

文京支部 忘年会

文京支部長 大柴和男

文京支部忘年会を12月8日(月)雑司ヶ谷鬼子母神よこの割烹 大倉にて開催いたしました。

支部長の挨拶、近藤理事長、松井副理事長の挨拶に続き、乾杯を高山台東支部長にお願いで開宴いたしました。



今回のお客様は、近藤理事長「美濃紙業(株)」、松井副理事長「(株)松井紙業」、高山台東支部長「(有)北信紙業」、脇山手支部長「(株)協商店」、城北支部の乗附孝之様「(株)宏文社」、夏目専務理事「事務局」、大回生命保険(株) 服部課長様、斉藤様、小川様、(株)。そして、パルコムの張麗様にお手伝いをお願いをして総勢24名。他にコンパニオンのリバーアップより5名お願い致しました。

謹 賀 新 年

た。厳選した新鮮な魚介類をメインに四季折々の日本の味の会席料理を食し酒を飲み会話がはずみ楽しい時間がすぎました。ビンゴゲームではリバーアップのリーダーの神戸様が一等、二等は2名で支部員の高橋様「(有)高橋商店」と近藤理事長。理事長は前回の文京支部忘年会でも一等を当て今回で2回目でした。中締めを榎原様にお願いで集合写真撮っておみやげを手に帰路に着きました。皆様、ありがとうございました。

台東支部 忘年会

台東支部長 高山昭二郎

11月開催予定が12月4日になり忘年会盛りの月、会場の中華料理店「華府」、二度目の来店は。確かに味の良いお店で好評だった。満席の盛況、理事会報告、市況状況等皆様の耳に届いたか疑問でした。早々に宴会に入り進むにしが他者にも負けない盛り上がりとなり、時間も一時間近く延長になってお開きとなりました。何時もの事なのですが、幹事の近藤清司さんには感謝。

足立支部 忘年会

足立支部長 赤松 源裕

2008年11月28日(金)当日、足立支部の忘年会を北千住で開催しました。

この日は、足立のほかのリサイクル関係の会合があり、とても少ない参加者でしたが、今度、新たに東京協組 足立支部に入会予定の(有)丸保紙業の片岡様を迎えて忘年会を行いました。

支部員が増える事を楽しみにしています。



新 年 賀 謹

山手支部 忘年会

山手支部 徳永 裕司

師走に入り何かと忙しい中、12月6日、山手支部忘年会を寿司やなぎにて、開催致しました。今回は本部から近藤理事長、松井副理事長、大柴文京支部長と他に江墨支部より4名の支部員をお招きし、行いました。大勢の出席者をいただき、誠にありがとうございました。



脇支部長の挨拶の後、近藤理事長のご挨拶、乾杯をして頂きました。秋以降古紙価格も下落して参りまして、最初はあまりいい表情ではありませんでしたがお酒が進むに連れて、皆様の表情も和やかになりました。又、綺麗なお姉さん方との会話で、私たち組合員も盛り上がり楽しい宴席となりました。束の間の2時間が過ぎ、名残惜しい中、松井副理事長の中締めにて、忘年会を終了しました。

山手支部組合員の皆様方、又、青年部の皆様、忘年会のご参加誠にありがとうございました。来年も支部活動にご理解、ご協力を宜しくお願い致します。来年もこのような楽しい会になるよう、皆様のご活躍を期待しております。

城南支部 忘年会

城南支部長 坂田 智

恒例の城南支部忘年会は12月6日(土)に品川から出航の屋形舟にて盛大に開催されました。例年ですと組合員と大同生命の方で行われていましたが、今年は屋形舟が大きい舟でしたので家族も参加してもらい30名程と大同生命の斉藤さんと小川さんにもおいで頂き

謹 賀 新 年



ました。舟から見ると夜景の美しさに感激し、料理もとても美味しくすばらしい忘年会となりました。幹事さんには大変にお世話になりました。業界にも10月から金融危機に端を発して、日本経済をも直撃し、古紙業界ものみ込まれた2009年ですが、前向きにこの1年を皆さんと共に乗り切り、頑張っ行ってきたいと思えます。

江墨支部 忘年会

江墨支部長 松井 隆宏

12月18日墨田区太平町の吉野寿司に於いて支部忘年会を行いました。

出席者は13名、お客様は清水副理事長、夏目専務理事でした。

コンパニオンさんが5名入り清水副理事長の挨拶のあと、古紙市況のことも忘れ楽しいひと時を過ごしました。



城北支部・青年部 忘年ゴルフコンペ

城北支部 黒田義孝支部長

平成20年11月23日に城北支部及び青年部のゴルフコンペを行いました。

場所は、あさひが丘カントリークラブ参加者3組12名。

この日は大きなコンペが入っていて朝早いスタートでしたが、天候に恵まれ暖かい1日でした。



優勝は40・41で回った志賀商店 志賀健二さん、準優勝は武田商店 武田誠一郎さん、3位は乗附商店 乗附孝之さん
 賞品は青年部が出して頂き全員に当たりましたが特に志賀さん、武田さんが多く持って行かれた。今回も辻社長さんのおかげでコーヌを取って頂き、料金も割引をして頂き有難う御座いました。

組合員の広場

銀座豆知識

城南支部 坂田秀一郎 理事

銀座大通り一丁目〜八丁目 現在も交通は凄く賑わいを見せている。この大通り徳川家康江戸入府以来、四〇〇年間、道路の広さ幅は変わらないらしい。多分徳川家の威容を誇る為、又、諸大名を威圧する為に造成したらしい。その当時としては大通りだったであろう。新橋汐留当りから江戸城迄造成した。銀座四丁目 現在の三越銀座店一带は尾張藩が普請したので、一寸前迄は尾張町と云ってい

た。銀座一丁目から八丁目迄お稲荷様と神社とで33ヶ所あり、その中、お稲荷様が26、神社が7ヶ所ある。江戸城開城に関連して沢山の河川が造られ、銀座界隈の橋は36を数える。現在でも相当数の橋名は現存している。数寄屋橋、三原橋、京橋とか耳にする。新橋演舞場近くには采女橋もあり、その辺りに天皇皇族などの一切の切り盛りをする女官達を住まわせたので、采女の名が付いたのか。

京橋と云う橋名の由来は、京都へ旅する時、日本橋をスタートして最初の橋で『京橋』と命名したとの事。都が京都から東京となり、土地価格で日本一の鳩居堂とか和菓子のお舗『虎屋』も明治政府の要請で東京にお店を構えた。銀座では古い方だ。因みに鳩居堂は薬屋で『香』が専門で皇室御用商人、現在は皆様御存知の通り、文具が非常によく売れるお店である。銀座大通りの歩道の石は都電の敷石の廃物利用であり、その産地は茨城、群馬、山梨、岡山で、それと良く見るとその中に赤っぽい色の敷石がある。その石は韓国の濟州島が産地です。もう一つ、銀座並木通りにある郵便ポストは赤で無く緑色に塗ってある。これも銀座の景観からそうしたのであろう。私達組合員も廃物を大切にして生活しよう。

支部スケジュール

- 〔千代田支部〕
 - 支部会 2月5日(木)
 - 支部会 3月5日(木)
 - 〔中央支部〕
 - 支部会 2月10日(火)
 - 支部会 3月10日(火)
 - 〔文京支部〕
 - 支部会 2月9日(月) 大塚 寿し常
 - 評議会 2月 日にち場所未定
 - 支部会 3月9日(月) 場所未定大塚
 - 〔台東支部〕
 - 支部会 3月 日にち場所未定
 - 〔荒川支部〕
 - 役員会 2月 日にち未定
 - 〔足立支部〕
 - 支部会 2月7日(土)
 - 〔山手支部〕
 - 支部会 2月19日(木) 鮎やなぎ
 - 3月19日(木) 鮎やなぎ
 - 〔城南支部〕
 - 新年会 2月7日(土)〜8日(日)
- 川治温泉

〔江墨支部〕

支部会 2月12日(木)

支部会 3月 日にち場所未定

〔城北支部〕

支部会 2月13日(金) 場所未定

支部会 3月13日(金) 場所未定

※第53回 通常総会

平成21年5月20日(水)

上野 精養軒にて

お知らせ

〔2月会議・催事予定〕

2月3日(火) 常任理事会 (pm 2:30)

理事会 (pm 4:00)

組合会議室

2月5日(木) 古紙リサイクルアドバイザー

講習会

足立・山手・城南支部

(pm 6:30) 組合会議室

2月6日(金) 東印工組「組合員の集い」

講演会 (pm 4:30)

懇親会 (pm 6:00)

京王プラザホテル

2月7日(土) 東資協新年会 (pm 5:00)

東京ガーデンパレス

2月7日(土) 集荷部委員会&新年会

委員会 (pm 6:00)

新年会 (pm 6:45)

湯島・江知勝

2月9日(月) 集直正副委員長会議

(pm 4:00) 組合会議室

2月17日(火) 直納部会議 (pm 4:00)

組合会議室

2月20日(金) 古紙リサイクルアドバイザー

講習会

江墨・城北支部・返本組合

(pm 6:30) 組合会議室

2月22日(日) 神奈川商組 創立60周年記念

ホテル横浜ガーデン

記念講演 (pm 4:00)

記念式典 (pm 5:00)

記念祝賀会 (pm 6:00)

2月23日(月) 静岡県紙業協会家庭紙部会と

の懇談会

事前会議 (pm 1:45)

本会議 (pm 2:30)

富士工業技術センター会議室

〔古紙価格〕

〔東資協の古紙4品の標準売値〕

平成20年12月8日現在

*新聞 11~14円(下降)

*雑誌 7~10円(下降)

段ボール 9~12円(下降)

色上(並) 7~10円(下降)

〔古紙品質調査事業〕

平成20年10月~12月価格

〔新聞 古紙〕 20,000円/トン

〔段ボール古紙〕 18,000円/トン

計報

山手支部:(有) マル浜鈴木紙業

(代表者 鈴木邦浩 様) のご母堂

鈴木豊子 様(享年79)

平成20年12月23日(火) ご逝去されました。

会議概要〔11月・12月〕

11月度定例理事会

〔平成20年11月4日（火）〕出席理事 27名
 於）組合会議室 p.m.4:00～

近藤理事長挨拶

10年に一度の創立60周年記念行事が無事、成功に終わりありがとうございました。引き続き先週は、静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会がありました。ここへきて世界的に景気後退の中で中国向けも国内も一気に冷え込んでまいりました。すでに、鉄、スクラップ業界が暴落しており、後を追うように紙の業界も同じような局面に突入するような状況になってまいりました。このような大変な状況の中で、我々組合員が結束して協力していければ良いと思っております。

〔各部報告〕

〔総務部〕

創立60周年記念行事が盛大に開催できました。ご協力ありがとうございました。

〔直納部〕

海外メーカー工場視察研修（中国の北京・大連）を11月21日（金）～24（月）に行う。現

地では松本光春商店の古紙ヤード、製紙メーカー、古紙市場等の視察を予定している。静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会を10月29日に開催した。紙業協会の会長や家庭紙メーカー、又、家庭紙以外のメーカーも数社出席した。家庭紙メーカーでは製品の第1次価格調整、第2次価格調整をすでに実施し、第3次についても検討中であるとのこと。

全体的な市況については、減産が多く洋紙、板紙の注文量のカットが目立っている。輸出については関東商組が価格面での折り合いがつかず11月の共販輸出を見送った。輸出需要が減少したため、問屋間での仕入過当競争はほぼ消滅したが、依然として先が読めない状況である。外需が大きく落ち込み内需も期待できない。

〔品目別市況〕

〔家庭紙〕 先日の静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会で、東京協組より家庭紙側に対し、これ以上価格を上げなくていいから安定的な価格を維持してもらいたいとの意見を出した。メーカー側からも原料側に対して価格を変えないで欲しいとの意見が出た。輸出については価格がつかず、輸出が出来るかどうかかわからない状況である。

〔段ボール〕 非常に厳しい状況であり今後、業界の中でどう処理していくか考えていかなければならない状況である。

〔新聞・雑誌〕 新聞は、国内は減産分のみ余剰となるのではないかと思われる。輸出に値がつかずどこまで下がるかわからない。雑誌は、年内は16円ではないかと思われる。

〔切付〕 10月は発生が落ちている。販売の方は国内は変わらないのではないか。色上が下がっている。

〔オフィス古紙〕 発生は年末に向けて多少増えてくるのではないか。オフィス系の発生はまだまだ少ない。

〔返本雑誌〕 部数が落ちて返品も増えている。特更メーカーの稼動は良くない。

〔集荷部〕

板紙メーカーの10月、11月の発注が大幅にカットされると聞いているがどんな状況なのか。業者により異なるのではないか。集荷としては、直納関係者が余計な売り込みをせずに頑張ってもらいたい。特にオフィス古紙、ミックスが家庭紙メーカーに流れていかないようお願いをしたい。組合として今の市況の状況説明を文章として作成し発信してもらいたい。

〔広報部〕

広報誌11月号は60周年特集号として記念行事の記事を中心に掲載していく。11月下旬に発送予定。原稿はすでに関係者に依頼してあるので期日までに提出してほしい。

〔事業部〕

来年の1月17日(土)に日暮里駅前のホテルラングウッドで新年会を開催する。これからアトラクションを含めた準備をすすめていくので、理事の方々の協力をお願いしたい。

〔青年部〕

本日の理事会終了後に幹事会を開催する。

〔近代化推進事業委員会〕

経営革新委員会：来年の3月までに、各単組ごとに古紙リサイクルアドバイザーの講習会を実施する。

IT委員会：関東商組のホームページを修正中。コンピュータセキュリティバックを売り出す予定がある。

需給委員会：10月12日～20日のイギリス、オランダの視察研修の報告。

古紙センター

〔関東地区委員会〕

〔平成20年11月18日(火)〕p m 2 : 00 於

古紙センター会議室

〔需要動向〕 08 / 10月

単位トン、() は対前年同月比、
在庫の() は在庫率

〔関東商組32社実績〕

〔新聞〕

仕入 81,317 (88.7%)

出荷 82,186 (90.0%)

在庫 6,921 (8.4%)

〔雑誌〕

仕入 64,544 (100.7%)

出荷 64,233 (99.1%)

在庫 6,929 (10.8%)

〔段ボール〕

仕入 140,415 (99.6%)

出荷 138,225 (96.9%)

在庫 12,205 (8.8%)

〔関東・静岡実績〕

〔新聞〕

入荷 262,582 (98.9%)

消費 246,244 (93.7%)

在庫 196,957 (80.0%)

〔雑誌〕

入荷 140,414 (107.3%)

消費 131,435 (102.2%)

在庫 69,043 (52.5%)

〔段ボール〕

入荷 339,959 (102.0%)

消費 327,900 (98.7%)

在庫 120,520 (36.8%)

〔業者側コメント〕

〔新聞〕新聞、チラシとも昨年対比で減少している。昨年11月以降は前月比がマイナスが続いている。輸出の減少で抜き取りが減っている。雑誌は出版部数が減少している。

〔段ボール〕今年1月～10月までは入出荷とも入っては、すぐに出て行く状態であった。11月からは輸出価格のドロップがおこる。11月の段ボールの輸出は少なくなるのではないかと。これから在庫が溜まってくるのではないかと思われる。

〔メーカー側コメント〕

段ボールは10月が年比で97%で11月はきわめて良くない。11月は追加減産(15%発注減)し発注を抑制した状態になる。12月はきわめて少なめの消費量が考えられ発注量も少なくなるのではないかと。

新聞は、10月度の内需は97.3%で洋紙では10

月93・4%、10月83・1%と少ない。新聞古紙は10月～11月は、減産による影響もあり余剰。古紙在庫はパンパンである。今後とも発注をおさえ各メーカーとも減産になるようである。

古紙センター

業務委員会

〔平成20年11月29日(木) pm1:30〕 於

古紙センター会議室

〔1〕 平成21年1月～6月の段ボール、新聞雑誌の消費計画について

〔2〕 中部地区古紙品質調査事業の開始につ

〔3〕 古紙の需要・市況動向について

*ページ数の関係で割愛させていただきます。

古紙センター

全原連役員会

〔平成20年11月27日(木) pm3:00〕 於

古紙再生促進センター

理事・監事60名：出席60名

(内、委任出席33名) 欠席0名

(1) 古紙再生促進センター 関係

●業務委員会 (11月27日開催)

◎平成21年1月～6月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画に関する件。

*平成20年11月、12月再見直案

段ボール :

11月見直案 655、546 t (前年比96.8%)

再見直案 650、991 t (前年比96.1%)

12月見直案 631、575 t (前年比99.6%)

再見直案 633、425 t (前年比99.9%)

10月～12月

見直案 1、991、022 t (前年比98.1%)

再見積案 1、988、317 t (前年比98.0%)

新聞 :

11月見直案 336、405 t (前年比94.9%)

再見直案 304、554 t (前年比86.0%)

12月見直案 349、096 t (前年比86.0%)

再見直案 321、427 t (前年比86.7%)

10月～12月

見直案 1、042、817 t (前年比93.5%)

再見直案 983、297 t (前年比88.1%)

雑誌 :

11月見直案 203、320 t (前年比102.2%)

再見直案 192、415 t (前年比96.7%)

12月見直案 200、226 t (前年比104.5%)

再見直案 191、400 t (前年比99.9%)

10月～12月

見直案 611、896 t (前年比101.8%)

再見直案 592、165 t (前年比98.5%)

*平成21年1月～6月計画案

段ボール :

1月～3月1、805、589 t (前年比99.5%)

4月～6月1、891、004 t (前年比98.6%)

1月～6月3、696、593 t (前年比99.5%)

新聞 :

1月～3月 989、733 t (前年比93.7%)

4月～6月 999、313 t (前年比98.7%)

1月～6月1、989、046 t (前年比96.2%)

雑誌 :

1月～3月 563、876 t (前年比97.6%)

4月～6月 589、691 t (前年比96.4%)

1月～6月1、153、567 t (前年比97.0%)

◎中部地区古紙品質調査事業の開始に関する件。

*開始時期：平成20年11月

参加業者：問屋業界12社、メーカー6社7工場

数量：段ボール165トン、新聞165トン

◎今後の主なイベント予定

*エコプロダクト2008出展

12月11日(木)～12月13日(金)

東京ビックサイト・東展示場

シンポジウムの開催：

12月11日(木) 14:00～16:00

*業務委員会予定

新年互礼会：平成20年1月9日(金) 13:30～

ホテルグランドパレス
1月度開催：平成21年1月23日(金) 13:30～
センター会議室

(2) 経産省 関係

◎経済産業省商務情報政策局取引信用課
所有権移転外ファイナンス・リース取引につ
いて貸借人が貸借借処理した場合の消費税の
取り扱いについて文面提示があります。

(3) 全原連 関係

◎審議事項(役員会上程、承認事項)

①「古紙商品化適格事業所」・「古紙リサイク
ルアドバイザー」申請認定に関する件。

・古紙商品化適格事業所：11月15日(3社、
5事業所) 累計(363社、744事業所)
・リサイクルアドバイザー：11月15日(2社、
6名) 累計(378社、1,620名)

②緊急保証制度の追加業種指定申請に関する
件。

・平成20年10月31日から開始した緊急保証制
度では、原油に加え多様な原材料等価格の高
騰や、これに伴う仕入価格の上昇を十分に転
嫁できていない中小企業者の資金繰りを支援
するため、現行制度の抜本的な拡充・見直し
を行ったもので申請することが決定しました。

◎正副理事長会・総合運営委員会(11月26日

開催)

(4) 各委員会報告

●経営革新委員会

・「古紙リサイクルアドバイザー」研修講習
会を実施するにあたり、「古紙品質管理手
順書」(概要版)をセンターの案に沿って
作成し、11月17日近畿地区開催時、手順書
の確認及び講習会実施を決定予定。

●需給委員会

・海外市場調査(今年度はイギリス、オランダ)
10月12日～20日(8日間)実施。

・世界的金融危機に際し、輸出事業について
は国際マーケットの急落にあわせ、関東商
組の共販事業(輸出事業)は11月度に引き
続き12月度も休止する。

・古紙センター業務委員会において、新聞・段
ボール古紙の余剰対策を具体的にメーカー
と問屋で取組み、メーカーとして製品価格
と古紙価格の安定維持を希望しており、そ
の対策を具体的に検討する。

●IT推進委員会(10月9日開催)

・ホームページリンク申請(2件) | (株)ツ
ルミ紙業、(株)丸興佐野錦一商店(役員会上
程、承認)。

●渉外広報委員会

・新聞広告掲載に関する件。

掲載新聞：日本経済新聞(全国版)

広告掲載：

第1回 平成20年12月9日朝刊

(発行部数約800万部)

コプロダクツ2008環境特集号全国版

(全7段)

特集号各社広告企画一枠

(古紙再生促進センター共同)

第2回 第1回掲載後約2週間目

(全国版朝刊全7段)

本広告原稿を2次利用の場合は日経新聞広
告部の許可が必要(若干の使用料)。

・「エコプロダクツ2008」に渉外広報委
員会としてパネルを出展する。

12月度定例理事会

「平成20年12月4日(木)」出席理事 27名

於) 東天紅 pm3:30

近藤理事長挨拶

いよいよ11月より市況が厳しくなっており
我々の関係の多い上物古紙にも影響が出てき
ているようです。この先は、どうなっていく
か判りませんが、今後、組合としてどう対応
していくか対策をたてていきたいのでご協力

をよろしくお願い致します。理事会の終わりに中国の視察研修の報告会をし、終了後には清風会の研修会を予定しておりますので長い時間ですが本日もよろしくお願い致します。

〔各部報告〕

〔直納部〕

10月後半に輸出価格が暴落。東京協組の共販輸出は、11月は1円下げで対応。12月は入札の結果で中止もあり。

11月の古紙3品は大幅に下げ短期暴落したが、12月は多少、回復する。洋紙メーカーは30～40%の減産で注文量カット。原料問屋は在庫対応に追われる。25日が発生ピークだが問屋のヤードにそのまま増えていくのではないかと。1月は非発生期なので調整が遅ければ、かなり厳しい状況になるのではないかと。家庭紙は2回の製品値上げで採算の取れる状況になっているが、今後、製品の価格割れが心配される。

〔品目別市況〕

〔家庭紙〕 家庭紙メーカーは安定供給、安定価格を望んでいる。11月に入り洋紙メーカーは上物に関して注文量をカット。

製品価格の下落が懸念され、年明けの動向について予想がつかない。

〔段ボール〕 国内景気低迷から前年より消費が落ちている。消費、注文数も例年にくらべ

落ち込む。

〔新聞・雑誌〕 新聞は、今月は大幅なカットで板紙以上のカット率である。価格は11月に下がり今月さらに下がっている。輸出は望めない。洋紙メーカーは新聞を中心に先行き悲観的である。来年も輸出は厳しい状態が続くのではないかと。

〔返本雑誌〕 11月の発生は2割減。返本輸出を止めた。

〔オフィス古紙〕 発生は少ない。値下げがあり輸出関係の物が国内に戻ってきている。発生が少ない分、助かっている。年明けは様子見になるのか。

〔集荷部〕

発生が悪く価格も下がっているため困惑している状態である。取引先に実情を知らせ、事情が解ってもらえるような文章を組合から出して欲しい。特に、印刷、製本工組等に対して理解を得られるようなものが欲しい。

広報より緊急に作成し年内に渡せるようにする。

〔広報部〕

広報誌11月号（60周年特集号）を送付した。現在、1月新年号を作成準備中。原稿締め切りは12月20日頃。1月の終わり頃に発送予定。内容は、正副理事長の新年の挨拶、中国の研修、清風会、支部の忘年会等を掲載予定。

広報誌をB4縦書き版からA4の横書き版として作成を考えている。サンプルを回覧。

〔事業部〕

労働時間等設定改善のアンケートを作成し送付したので回答を提出してほしい。

1月17日（土）の合同新年会について：①ゲストは従来通り②アトラクションは支部対抗カラオケ大会③幹事は、城南支部と山手支部。

〔青年部〕

12月9日に青年部の忘年会を開催する。

〔近代化推進事業委員会〕

経営革新委員会：古紙リサイクルアドバイザーの講習会の案内を送る予定。今回は各事業所より代表者1名が受講の対象。他は、順次1年間の中で受講する予定。

需給委員会：イギリス、オランダの視察研修のレポートをまとめ全原連の新年会で報告する予定。

古紙センター

〔関東地区委員会〕

〔平成20年12月22日（月）pm2:00〕 於古紙センター会議室

〔需要動向〕 08/11月

単位トン、（ ）は対前年同月比、在庫の（ ）は在庫率

〔関東商組32社実績〕

【新聞】

仕入 73、651 (78.4%)
 出荷 69、541 (73.4%)
 在庫 11、031 (15.9%)

【雑誌】

仕入 53、414 (84.1%)
 出荷 53、742 (84.6%)
 在庫 6、601 (12.3%)

【段ボール】

仕入 122、235 (87.9%)
 出荷 120、489 (86.6%)
 在庫 13、951 (11.6%)

【関東・静岡実績】

【新聞】

入荷 227、384 (83.7%)
 消費 239、115 (89.7%)
 在庫 185、226 (77.5%)

【雑誌】

入荷 126、738 (99.2%)
 消費 125、212 (98.9%)
 在庫 70、569 (56.4%)

【段ボール】

入荷 303、593 (91.1%)
 消費 303、573 (92.2%)
 在庫 122、230 (40.3%)

【業者側コメント】

【新聞】新聞は本文92%、チラシ97%で両方で94%。特に例年とくらべチラシの減少が大きい。12月も良くなく回復のきざしが見えていない。雑誌は20%落ちている。過去にない

落ち込みである。

【「段ボール」】 段ボールは前年比87・9%で景気が悪く前年を下回っている。12月も発生は良くない。

【メーカー側コメント】

新聞は入荷86・6%、消費97・1%、在庫94%で備蓄在庫はパンパンである。減産がきつくなってきた。1月は12月以上に減産になる。段ボールは、11月は前年比87%と悪く実態経済そのものが悪くなっているのではないかと。11月〜12月は減産予定にもかかわらず、さらに減産になるようである。原料在庫は高水準のままある。今後はつきりとした見通しがたたない。輸出も悪くなってきた。

編集後記

広報副部長 脇 克美

皆様、明けましておめでとございます。皆様が、明けましておめでとございます。昨春秋以降の世界同時不況の嵐は我が業界にも即および、不安な年明けとなつてしまいました。私自身も暮れに風邪をひいてしまい、喉と鼻をやられ商況とともに散々な年末ではありませんでした。しかし、前々からの予定でもあったので正月には家族と和歌山県の熊野路へ、11、12日の連休には友人と山口県へと行楽に行き楽しんでまいりました。機会があれば広

報に掲載させていただきたいと思えます。

その広報ですが、今のタテ書きからヨコ書きに変えたいと考えています。そのほうが読みやすいのではないかと考えるからです。組合員の皆様には有意義な情報をお伝えすべく広報部一同努力しますので、今年も広報を宜しくお願いいたします。また、投稿も大歓迎ですので題材を問わずお待ちしております。政治も経済も先の読めない混沌とした年始めではあります暮れにはウツシツシと言えるような年になつてほしいものです。